

～ “多様な人材が活躍できる” 職場のつくりかた～

平成31年地域政策研究センター 地域協働研究【ステージⅡ】 採択課題

課題名：盛岡市内企業における女性活躍推進に効果的な手法の開発と検証

研究代表者：社会福祉学部 准教授 吉田仁美

課題提案者：盛岡市市民部市民協働推進課男女共同参画推進室

研究メンバー：田山路子（盛岡市男女共同参画推進室）

技術キーワード：女性活躍、ダイバーシティ経営推進、持続可能なまちづくり、地域活性化

▼研究の概要（背景・趣旨）

「盛岡市女性活躍推進に関する事業所調査（H30ステージⅠ）」で把握した、事業所が抱える二大課題（①自社の女性社員の理解・行動・意識改革等②管理職の認識意識の向上・多様な人材の活用等）の解決のため、人材育成および啓発事業を実施し、今後盛岡地域で本格的に事業化を図る前の「トライアル事業」の位置づけとして、その効果を検証する。

▼研究の内容（方法・対象等）

【事業1】女性社員向け人材育成セミナーの実施

「仕事で信頼関係を築くコツを学ぶ」
～相手の視点に立って考え信頼関係を築く
「マネジメント思考」を体感してみよう～

日時：令和元年11月26日（火）10：15～16：45

対象：盛岡広域事業所に勤務する女性（管理職除く）

参加者：33名（21事業所）

講師：㈱ワークシフト研究所 講師
小谷恵子 氏（博士：経営管理）



【事業2】事業所向け啓発資料の作成

「誰もが活躍できる職場で笑顔と利益がUP！」
～多様な人材の活躍のためのヒント集～

内容：「女性活躍」「男性育休」「働き方改革」に取り組む盛岡地域の企業の取組事例紹介等。

仕様：A4版/3ページ見開き

発行：5,000部（商工会議所会員企業への配布、
公民館図書館等公共施設への配架等）

制作：いわてライフキャリアラボ（代表 後藤大平氏）

▼研究の成果（結論・考察）

【事業1】女性社員向け人材育成セミナー

経営学の知見をベースにした「ケースメソッド教育（職場で起こりうる事例を使用し疑似的に状況を体験、ディスカッションとレクチャー等を通じ思考力を鍛える教育法）」が高い有効性を示した。受講後も事後アンケートに回答した87%が実践に生かしていると回答。



【受講生の声（一部）】

相手の立場に立って考えることの重要性が明確に/組織全体を俯瞰できるように/リーダーシップを自主的に発揮できるよう工夫...等

【上司の声（一部）】

所属部署の有効性や効率性を考えるように/会議での発言回数増えた/コミュニケーションに気配りが見える/自己研鑽意識高くなった...等

【事業2】事業所向け啓発資料

女性活躍推進事例（㈱アート不動産）、男性育休事例（盛岡セイコー工業㈱）、働き方改革事例（川上塗装工業㈱）へインタビュー。盛岡地域の企業取組を紹介することで、地元企業の関心を喚起し、波及効果を狙った。



【反響・マスコミ掲載】

シンプルでわかりやすい構成/これいいですね！上司に見せます/社内で読んでみます...等

盛岡タイムス（2020年4月2日掲載）
岩手日報（2020年4月20日掲載）



▼おわりに（まとめ・今後の展開）

- 今回実施したような、女性人材の意欲・モチベーションの向上などの「内発的動機付け」に働きかける視点の女性人材育成事業や、意欲や能力を発揮しやすい職場環境づくりの支援を発展させていくことが期待される。
- これらの継続実施により、事業所内に有益な人材が輩出され、組織の意思決定過程において多様な視点や創造をもたらすと同時に、企業価値や業績の向上につながる。また、女性活躍推進に着手する市内事業所が増えることで、人口減少による社会・経済の縮小が危惧される中においても、盛岡地域が豊かで活力あふれる地域となり、将来に渡っても持続可能なまちが形成されていくことにつながる事ができる。